

一般質問発言通告書

発言順位 17番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和6年6月11日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 6番 本間 雄次郎

質問事項1	未就学児のいじめについて
具体的内容	
昨今、未就学児のいじめが取り沙汰されている。小・中学生と比較し、本人たちの当事者意識が希薄なことから、未就学児のいじめは顕在化しにくい実態がある。	
1. 市内における未就学児のいじめの把握状況と今後の対策は。	
質問事項2	河川排水機場について
具体的内容	
昨年6月2日豪雨の際には沼津市黄瀬川において排水機故障のため、近隣地域や病院などが浸水被害にあった。私の地元・長伏も例外ではなく、同じく昨年6月2日豪雨の約1週間前に、定期メンテナンスで境川排水機に異常が見つかり、急遽国交省ポンプ車を手配したことで、被害を少なく抑えることができた。しかし偶然の産物とも言える。私は、本件を直接人命に関わる重要課題と捉える。	
1. 市内排水機場における、メンテナンス状況は。	
2. 上記のように、長伏の境川排水機は偶然にも異常が見つかったわけだが、平時から万全の状態とし、災害時に住民の命を守るためにも、人員強化などの対策はあるか。	
質問事項3	新庁舎整備について
具体的内容	
整備地選定10,000人アンケートは一言でいえば「市民への責任転嫁のための手法」である。前回2月定例会において、私は予算に対する反対討論の中で下記のように述べた。 『三島のため、どちらに建てるのが有益なのか、市として明確な意思表示をしないまま、あたかも市民が建設地を決めたかのような、責任転嫁とともれる手法だと思います。建設地決定の際“あくまでも市民が決めたのだ”という市の言い訳がのちのち通用してしまいます。市の顔ともなる市役所問題をこのように進めてはなりません。』と述べ、アンケート実施費用250万円が計上された予算に私は反対をした。 いずれにせよ、三島市は南二日町での整備に向け、議員と市民を誘導している、との指摘が多い。これまでも申してきたが、完成後のリスクも議論がほとんどないまま、三島市民の税金が60億円も投入され着工を迎えた駅前再開発事業を抱えながら、建設坪単価230万円といった超高級庁舎建設を誘導的手法で進めてよいのだろうか。このような進め方を続けるのであれば、そもそも移転新築も現所在地建替もすべきでない、というのが私の基本的な考えである。	
1. 整備地に関する市長の考えについて	
2. 整備地選定のための市民10,000人アンケートについて	
3. 事業費について	
4. 駐車場について	
5. 整備地決定に向けたスケジュールについて	